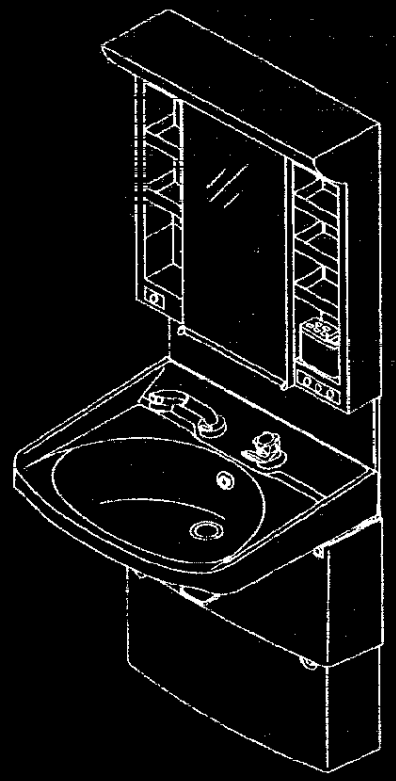
座（ザ）・ドレッサーシリーズ

洗面化粧台・化粧鏡・ウォールキャビネット

TOTO

施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。



もくじ

安全上の注意 …… 2・3
工事寸法 …… 4
部品明細 …… 5・6
設置上の注意 …… 6
取付前の準備 …… 6
電気工事 …… 7
使用条件 …… 7
施工のながれ …… 8
取付手順 …… 9～37
取付完了後の確認と清掃 …… 38

W06682N

安全上の注意

●取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
●この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

壁固定ねじ取付位置に桟を入れて補強してください	電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者・業者」が行ってください	交流100Vを使用してください
キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。	火災や感電及び漏水の原因になります。	交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
電源コードを傷つけないでください	浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください	使用地域の周波数にあわせてください
電源コードを傷つけると漏電及び火災のおそれがあります。	漏電により感電するおそれがあります。	60Hz用器具を50Hz地区で使用すると火災の原因になります。

⚠ 注意

湯・水を逆に配管しないでください	工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください
水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。	漏水を起こすと、家財等に損害を与えるおそれがあります。	凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

昇降装置のエッジに注意して作業を行ってください	昇降装置のPPバンドは、壁固定時まではずさないでください	昇降装置や鏡の動きに注意してください
けがの原因になります。	誤動作によりガススプリングが作動した場合、けがをするおそれがあります。	手などをはさみ、けがをするおそれがあります。
洗面器の上に乗らないでください	工事完了後、洗面器の固定・配管カバーの固定・キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください	
故障及び転落・転倒してけがの原因になります。	使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。	

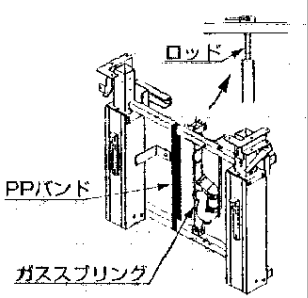
その他の注意

ガススプリングは絶対に、分解しないでください。
圧縮された窒素ガスが封入されていますので、分解することは非常に危険です。

ガススプリングからオイル、またはガス漏れが発生した場合、施工を中止してください。
オイルが漏れたとき、ガス反力が高くなり非常に危険です。

ガススプリングのロッドに傷をつけないでください。
ロッドに傷をつけるとシールが損傷し、ガススプリング内のガスおよびオイルが漏れて、ガス反力低下の原因になります。

昇降装置本体詳細



注油しないでください。
ロッド部に注油するとシールを傷め、ガススプリング内のガスおよびオイルが漏れて、ガス反力低下の原因になります。又、支柱の内部にも注油しないでください。

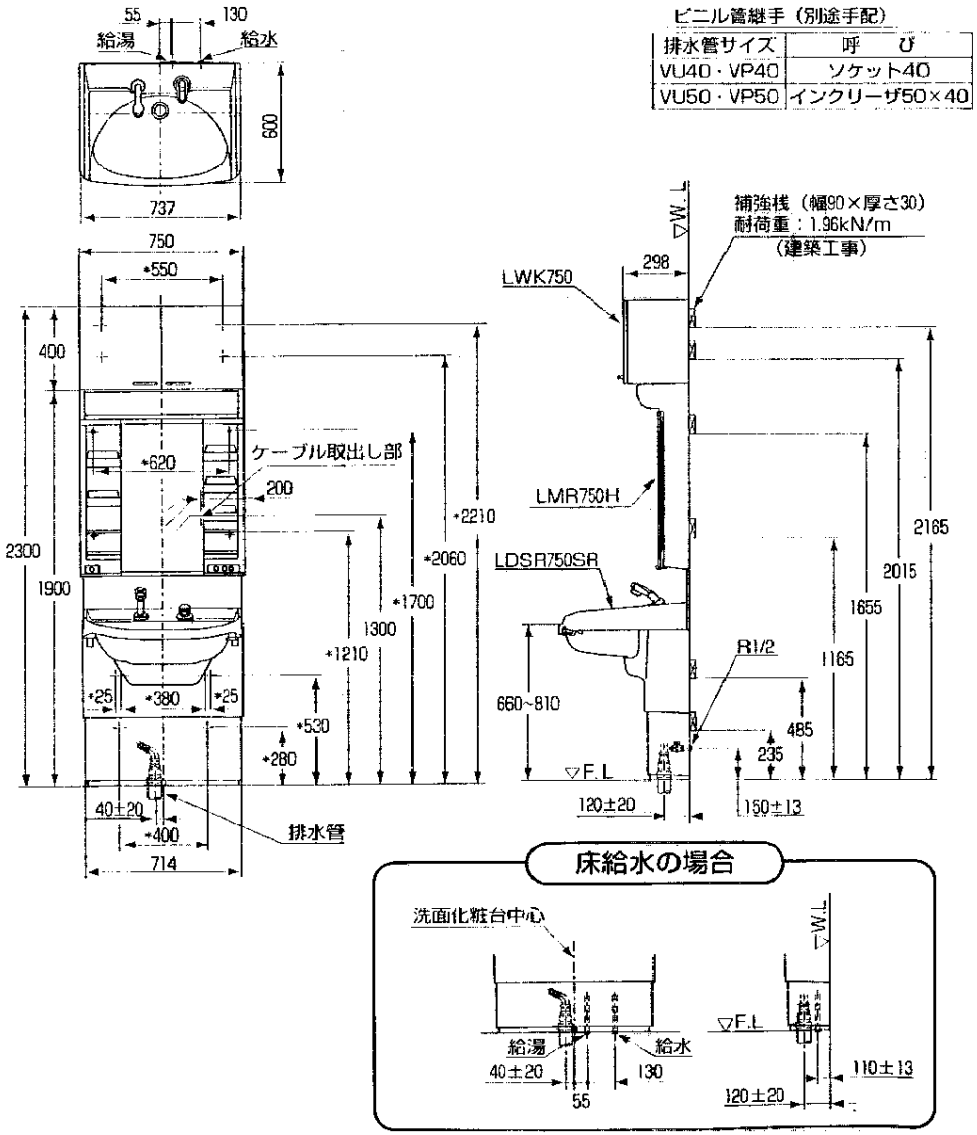
ガススプリングを持って運ばないでください。
変形の原因になります。

工事寸法

※特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
※図はLDSR750SR(LDR750A+LDR750SR)+LMR750H+LWK750タイプです。その他の機種は、外観形状が異なります。
※ ＊は木ねじ位置です。
※排水管のサイズにより、右記のビニル管継手を別途手配してください。
※化粧鏡の電源を直結配線される場合は下記の位置にケーブルを取出しておいてください。

ビニル管継手（別途手配）

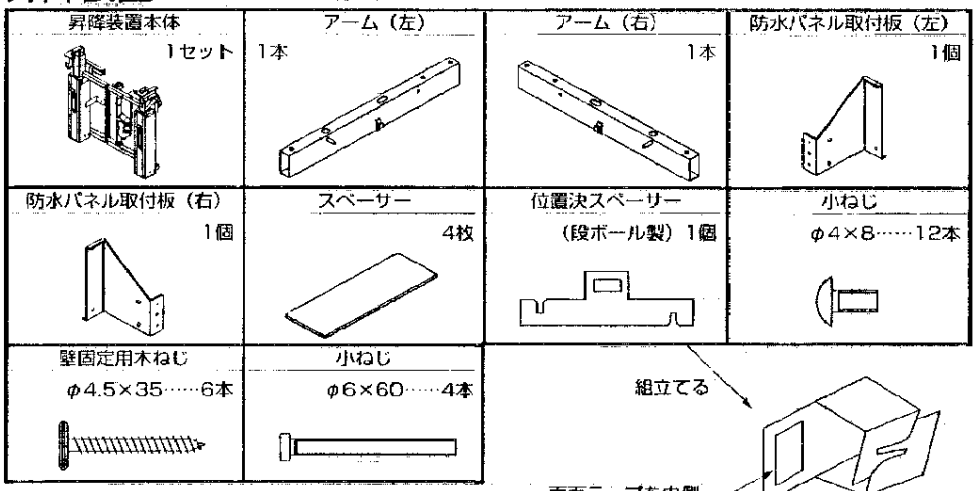
排水管サイズ	呼　び
VU40・VP40	ソケット40
VU50・VP50	インクリーザ50×40



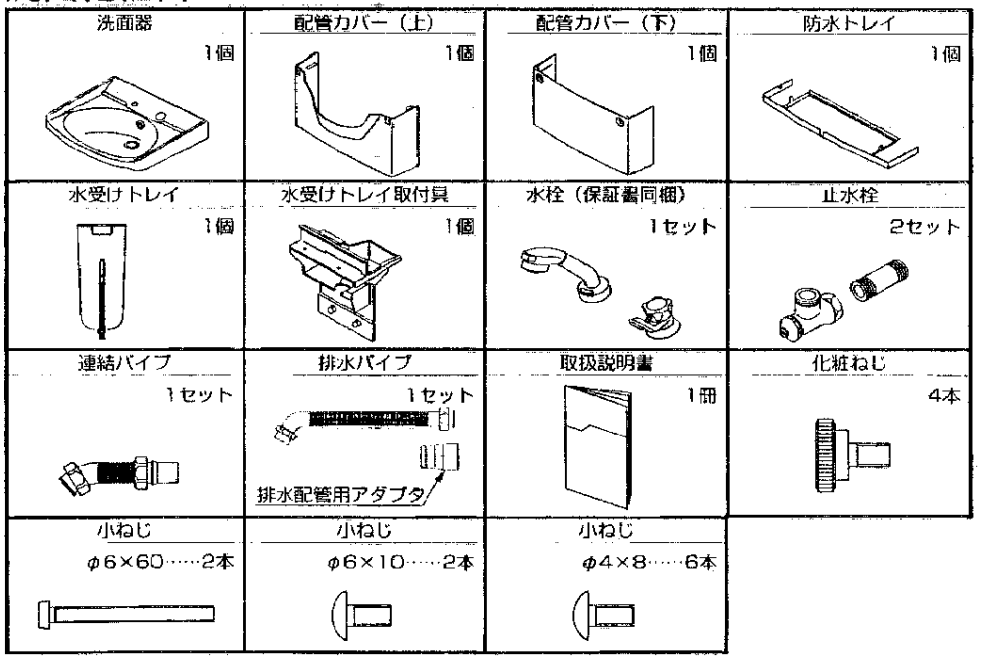
部品明細

☆梱包部品明細

昇降装置　LDR750A



洗面化粧台　LDR750SR・TR



☆付属部品明細

化粧鏡　LMR750・752

	名　　称	数　量
1	防水パネル	1個
2	歯ブラシ立て	1セット
3	壁固定用木ねじ（φ4.5×50）	4本
4	パネル固定用ねじ（φ4×14）	4個
5	化粧キャップ	4個

ウォールキャビネット　LWK750

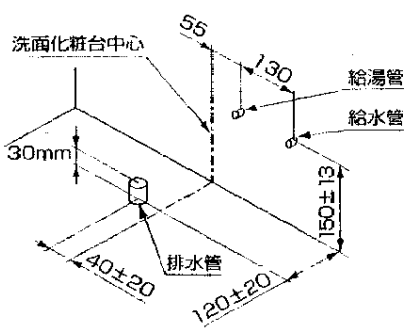
	名　　称	数　量
1	棚受ダボ	4個
2	壁固定用木ねじ（φ4.5 ×50）	4本

設置上の注意

●設置の際は床などを傷つけないよう取扱いに注意してください。
●湿気の多い場所では、腐食や木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
　特に浴室内には、設置しないでください。
●直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
●取付けは必ず平滑な壁面としてください。
　（洗面器が昇降しますので、壁などのこすれや故障の原因になります。）

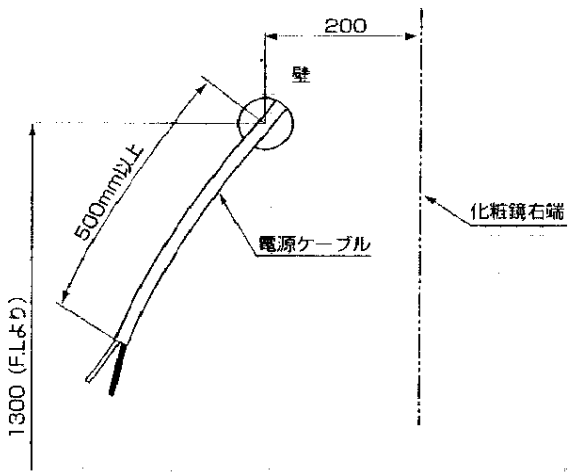
取付前の準備

●壁側に周辺キャビネットが設置される場合は周辺キャビネットを先に設置してください。
●昇降操作レバーの使用方向（左右）を必ず、お客様に確認してください。
●キャビネットの壁固定部分には、壁面に補強桟を入れてください。
　（壁面に補強桟を入れられない場合は、前面に厚み30mm以上になるよう合板を強固に取付けてください。）
　特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの
　際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に補強桟を入れてください。
●給水・給湯管を所定の位置に取出してください。
　（取出位置の指定公差をはずれると、昇降に支障をきたすことがあります。）
●器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
●排水管を所定の位置に仕上げ面より30mm立上げてください。
　（排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。）



電気工事（必ず電気工事店にて行ってください。）（化粧鏡を直結配線にする場合）

●あらかじめ電気工事店様にお願いして下図のように電源ケーブルを取出しておいてください。
※取出位置は工事寸法を参照してください。



使用条件

●水栓金具の使用条件は、水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。

施工のながれ

施工前の確認
- 入荷製品のチェック
- 施工現場チェック
  (建築図通り現場が出来ているかチェックする。)

下準備
- 補強桟位置の確認
- 給水管、給湯管、排水管の取出し位置の確認
- コンセント (電源) 位置の確認
  (電気工事は、専門の電気工事店にお任せください。)

防水トレイの取付け
- 配管位置の測定
- 防水トレイの穴加工
- 防水トレイの取付け

昇降装置の取付け
- 位置決めスペーサーの取付け
- 昇降装置の取付け
- 止水栓の取付け
- 防水パネル取付具の取付け
- 防水パネルの取付け
- 防水パネルと壁の隙間調整

化粧鏡の取付け
- 化粧鏡の据付け
- 化粧鏡の壁固定
- 化粧鏡の周波数の切替え

洗面器・水栓金具の取付け
- ストッパーの固定
- 水受けトレイ取付具の取付け
- アームの取付け
- 洗面器の仮置き
- 水栓金具の取付け
- ストッパーの取付け
- 洗面器の固定
- 操作レバーの取付け
- ホースの接続
- 連結パイプの取付け
- ビニル管継手の取付け
- 排水パイプの取付け
- 防水トレイの処理
- 確認

周辺キャビネット・配管カバーの取付け
- 周辺キャビネットの取付け
- 配管カバーの取付け
- ウォールキャビネットの取付け

取付完了後の確認と清掃
- 化粧台の確認
- 化粧鏡の確認
- ウォールキャビネットの確認

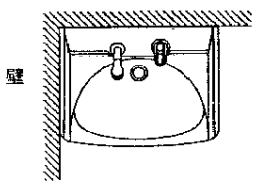
取付手順 (必ず番号順に取付けてください)

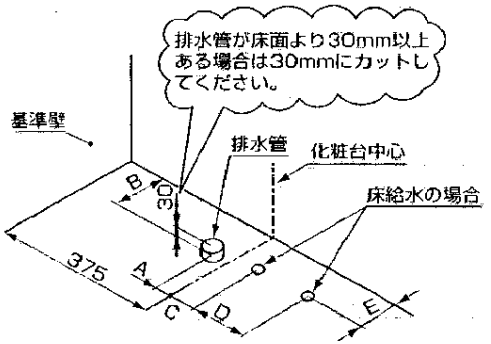
①防水トレイの穴加工

1 配管位置の測定

●化粧台中心をけがいてください。
(下図は左基準の場合を示します。)

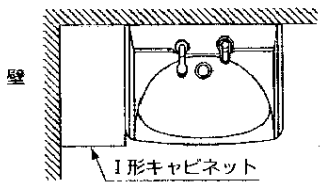
※横が直接壁の場合

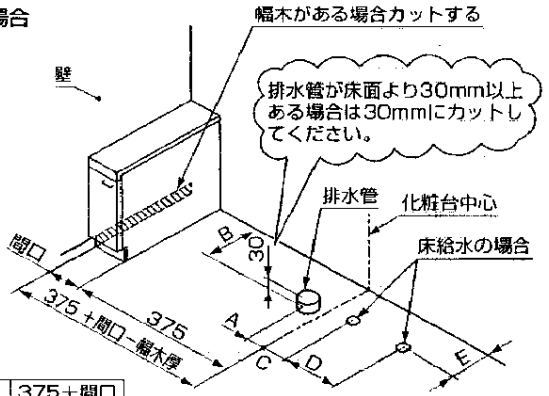




- 壁給水の場合は、A・Bの寸法を測定してください。
- 床給水の場合は、A～Eの寸法を測定してください。

※I形キャビネットが設置される場合





- 壁給水の場合は、A・Bの寸法を測定してください。
- 床給水の場合は、A～Eの寸法を測定してください。

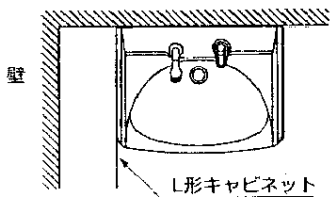
キャビネット寸法	375+間口
150	524
250	624
300	674
450	824

①防水トレイの穴加工

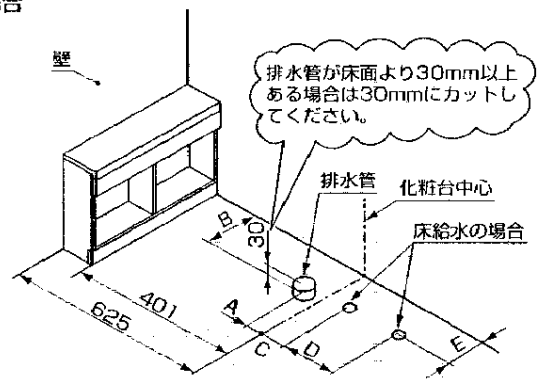
1 配管位置の測定

●化粧台中心をけがいてください。
（下図は左基準の場合を示します。）

※L形キャビネットが設置される場合



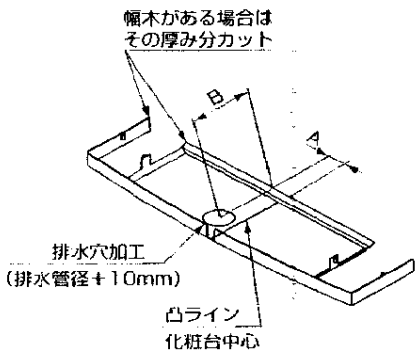
・壁給水の場合は、A・Bの寸法を測定してください。
・床給水の場合は、A～Eの寸法を測定してください。



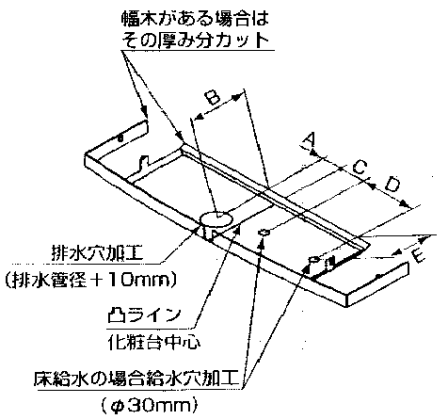
2 防水トレイの穴加工

（前図のA～Eの穴位置に合わせホルソーなどで穴をあけてください。）

●壁給水の場合

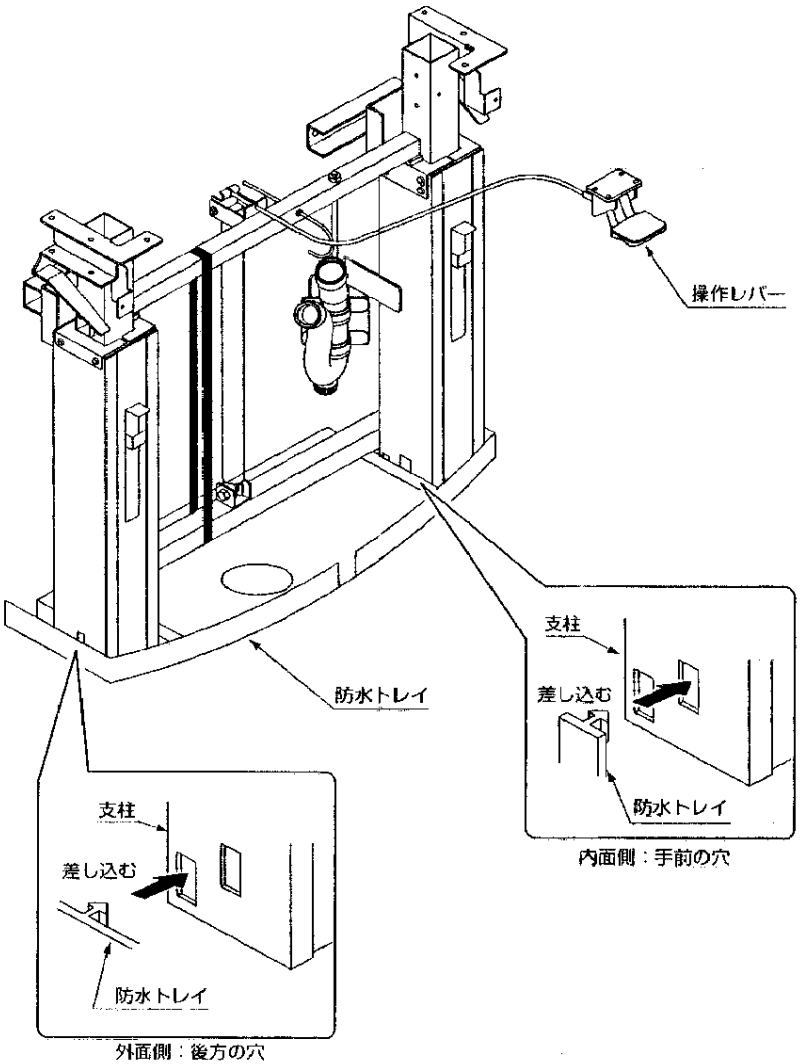


●床給水の場合



②防水トレイの取付け

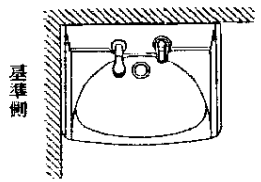
●操作レバーをはずし、支柱の角穴に防水トレイを取付けてください。



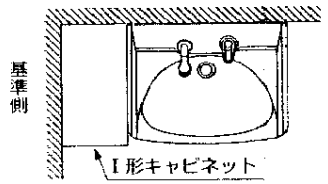
③位置決スペーサーの取付け

●取付基準側に壁又はキャビネットがくる場合は、テープのセパレータをはがし昇降装置に位置決スペーサーを取付けてください。

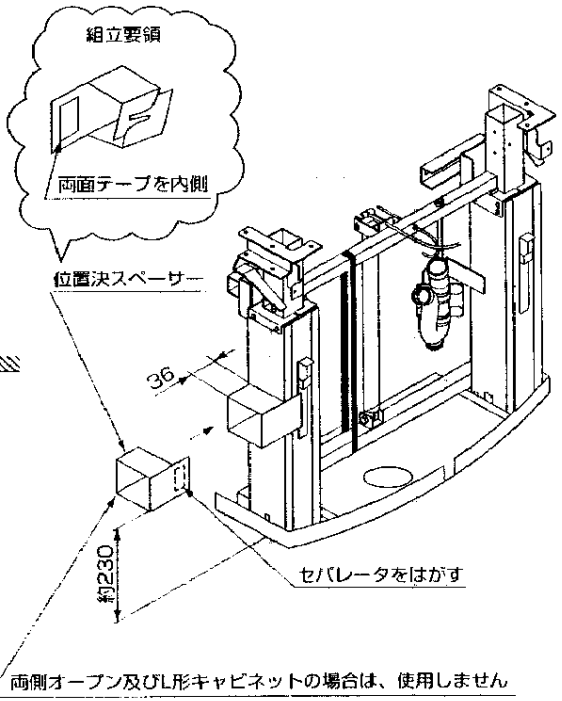
●左側が取付基準の場合

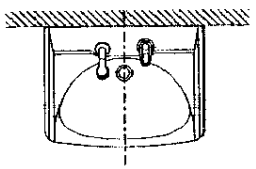


壁の場合

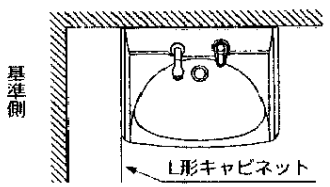


I形キャビネットの場合





両側オープンの場合



L形キャビネットの場合

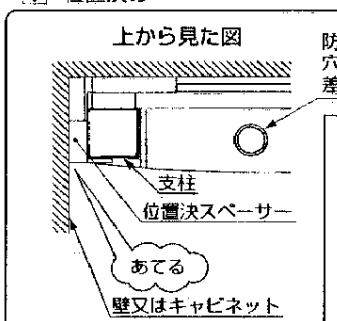
●右側が取付基準の場合

※右側に位置決スペーサーを取付けてください。

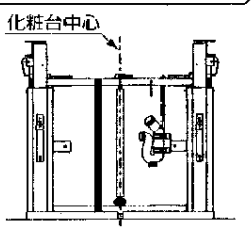
④昇降装置の取付け

●下図の番号順に取付けてください。

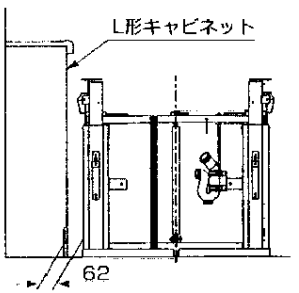
1 位置決め



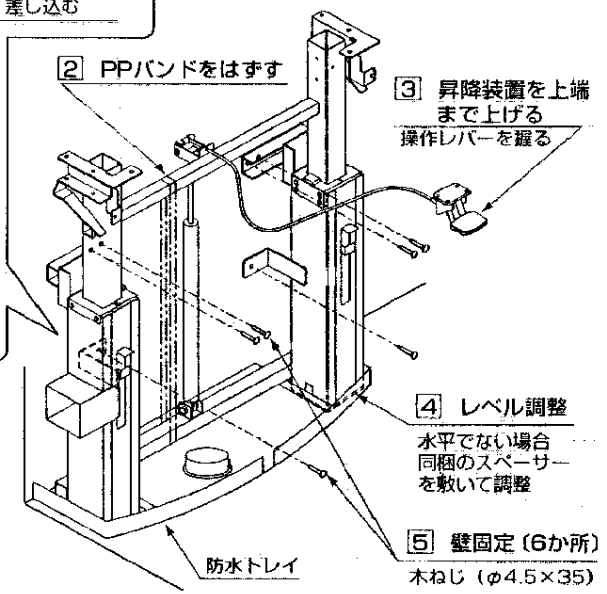
※位置決スペーサーは取付基準と、反対側にキャビネットが設置される場合は、もう一度使用します。



両側オープンの場合



L形キャビネットの場合



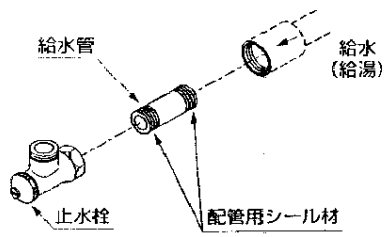
タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。

※排水管にねじなどを落すおそれがありますので、段ボールなどでふたをしておくことをおすすめします。

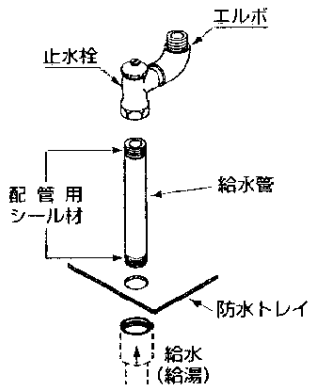
⑤止水栓の取付け

●工具で確実に締付けてください。

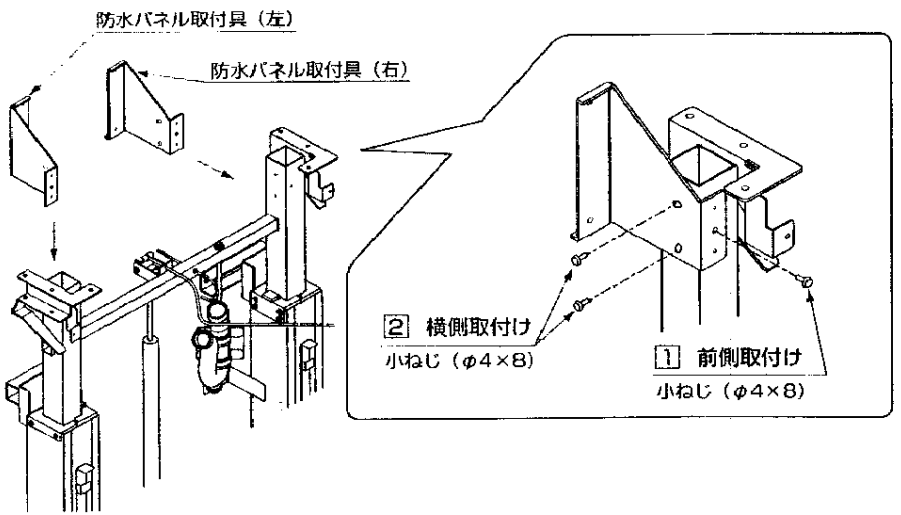
●壁給水の場合



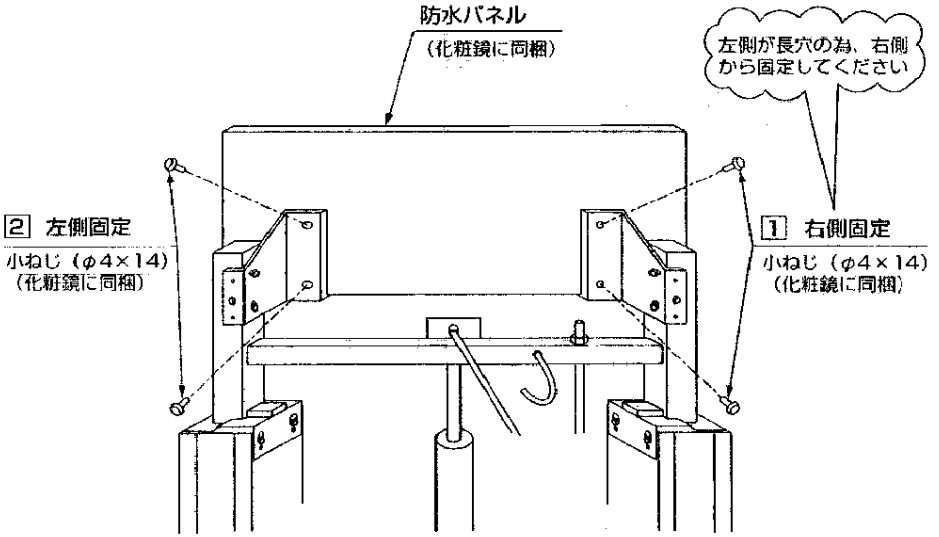
●床給水の場合



⑥防水パネル取付具の取付け



⑦防水パネルの取付け



⑧防水パネルと壁の隙間調整

5~8mmない場合、壁や化粧鏡と防水パネルがあたるおそれがあります。

1 昇降装置を上端まで上げる

取付穴が上に出る

2 壁との隙間確認 5~8mm

2 壁との隙間確認 5~8mm

1

3 調整ねじの取付け

調整が不要の場合小ねじ(φ4×8)を手締めのこと

4 調整方法

壁との隙間が5mm未満の場合

調整ねじ
小ねじ(φ4×8)を上に取付けて調整してください

小ねじ
(ゆるめる)
(調整)
(締める)

壁との隙間が8mmを越える場合

調整ねじ
小ねじ(φ4×8)を下に取付けて調整してください

小ねじ
(ゆるめる)
(調整)
(締める)

⑨-1化粧鏡の取付け（据付け）

●昇降装置が上端まで上がっている状態で化粧鏡をのせてください。

1 昇降装置が上がっているか確認

取付穴が上に出る

2 コードを右側に出す時はコード止め具をはずす

4 防水パネルにのせる

防水パネル

防水パネル

リブ

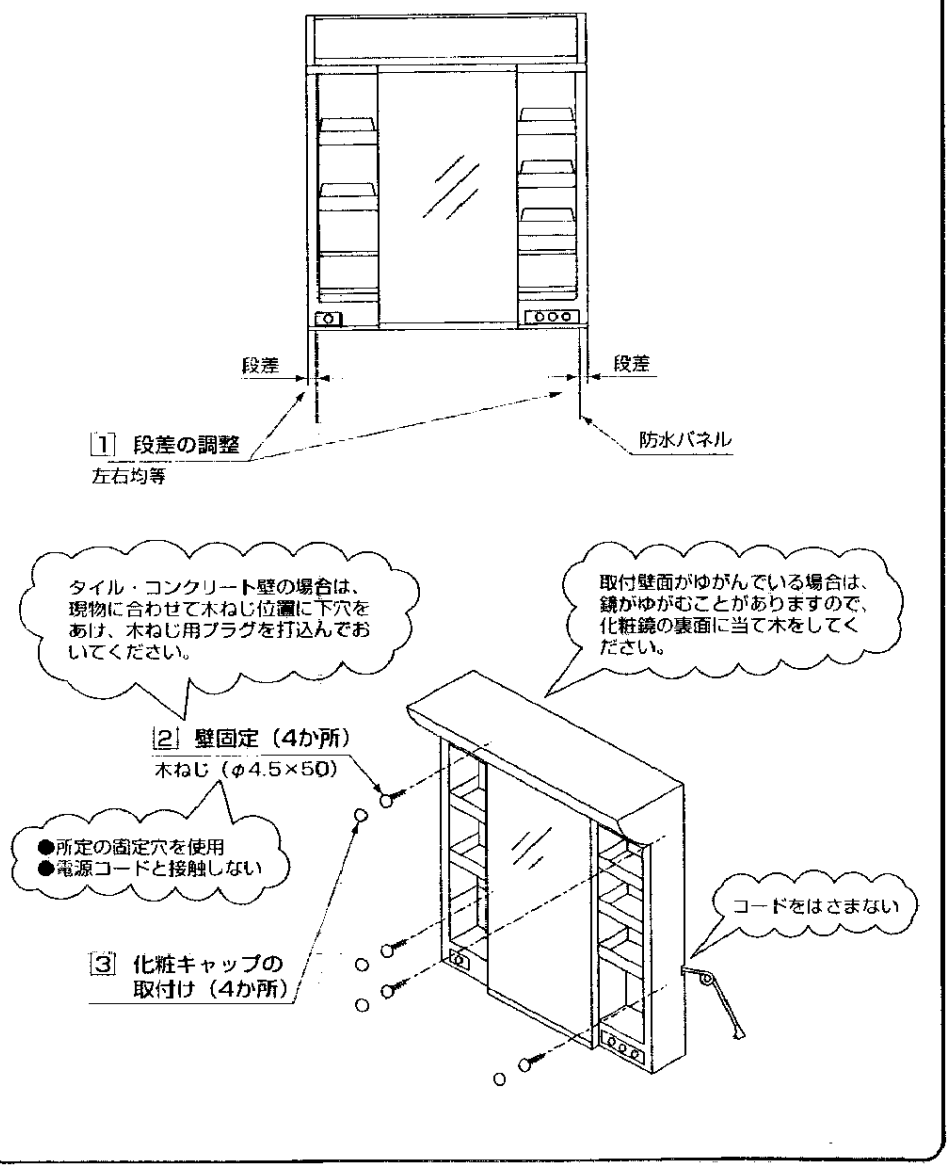
3 溝にコードを通す

コードはリブの上を通す

昇降装置

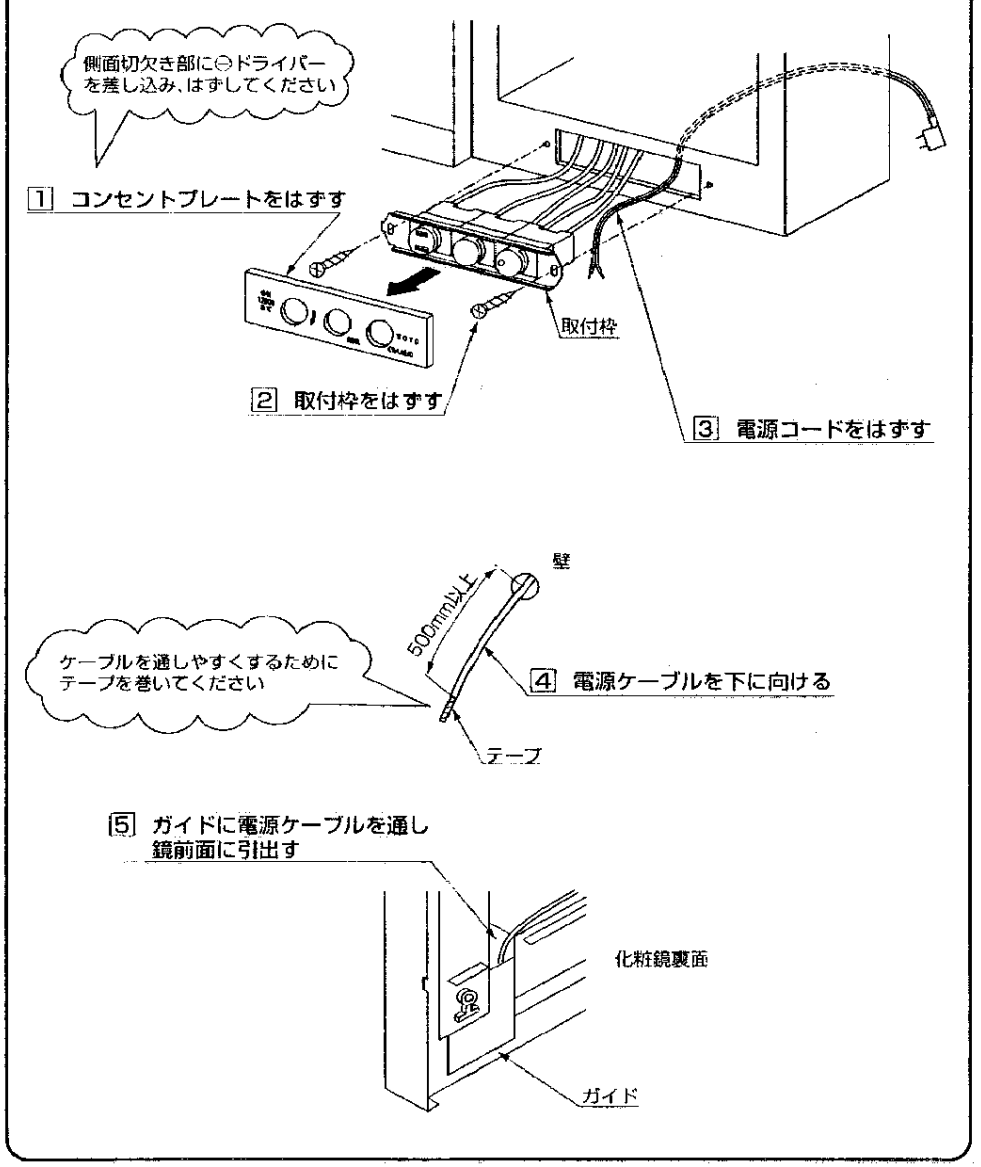
※直結配線の場合は、P19・20を参照ください。

⑨-2 化粧鏡の取付け（壁固定）



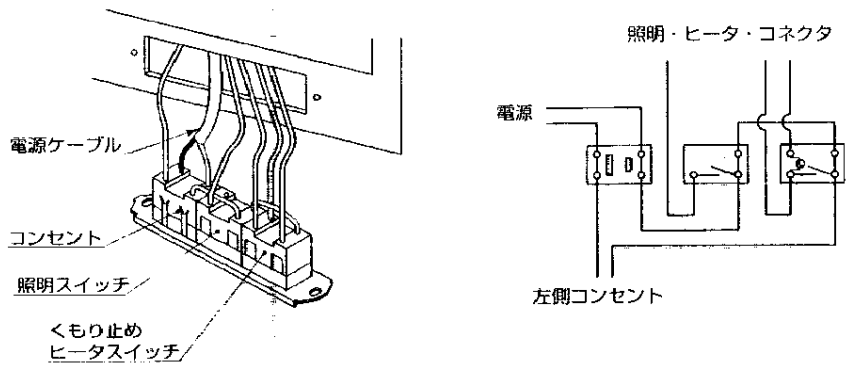
⑨-3 化粧鏡の取付け（直結配線の場合）

※必ず電気工事業者にご依頼ください。

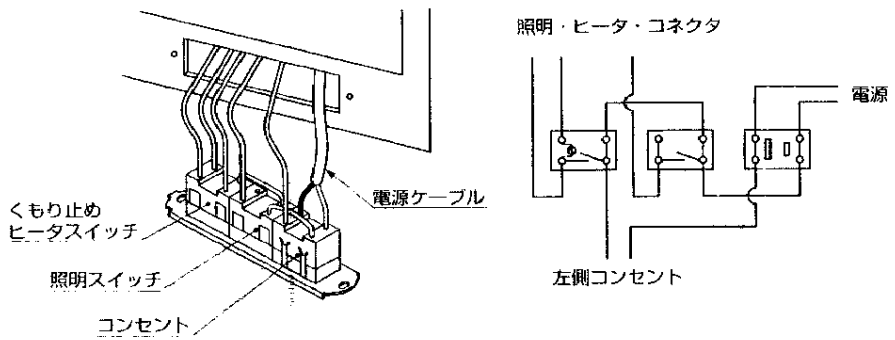


⑨-③化粧鏡の取付け（直結配線の場合）

●一面鏡の場合



●三面鏡の場合



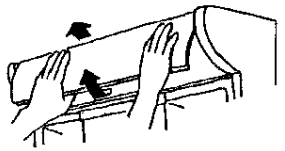
●取付枠・コンセントプレートを取付けてください。

⑨-④化粧鏡の取付け（周波数の切替え）

1 照明カバーの着脱

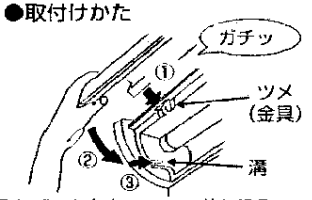
照明カバーの着脱方法

●はずしかた



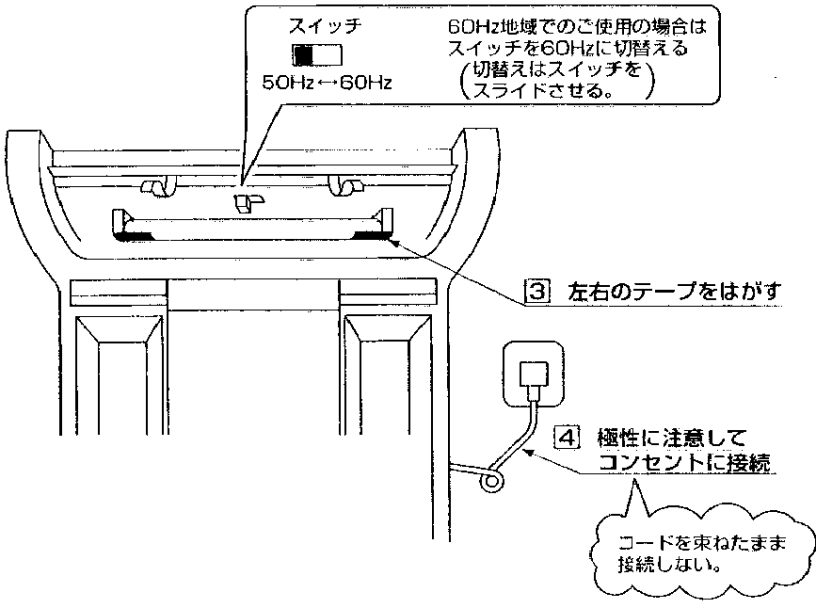
①カバーを手前に回転させながら
②斜め上に引き抜いてください

●取付けかた

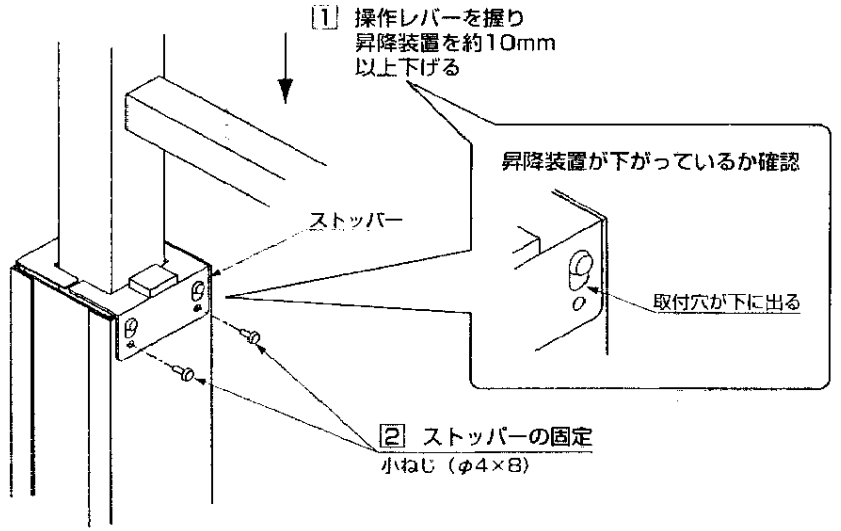


①カバーを左右のツメに差し込み、
②手前に回転させながらガチッと音がするまでツメに押し込んでください
③カバー下部を本体の溝に差し込んでください

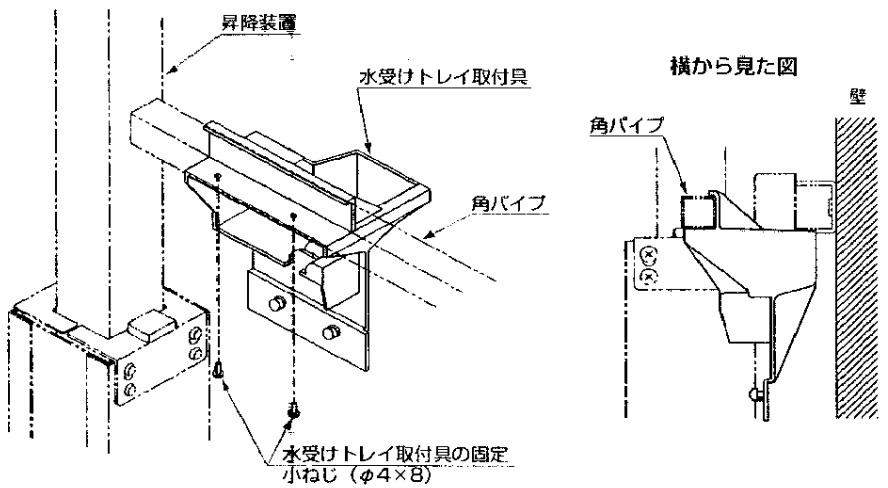
2 スイッチの切替え



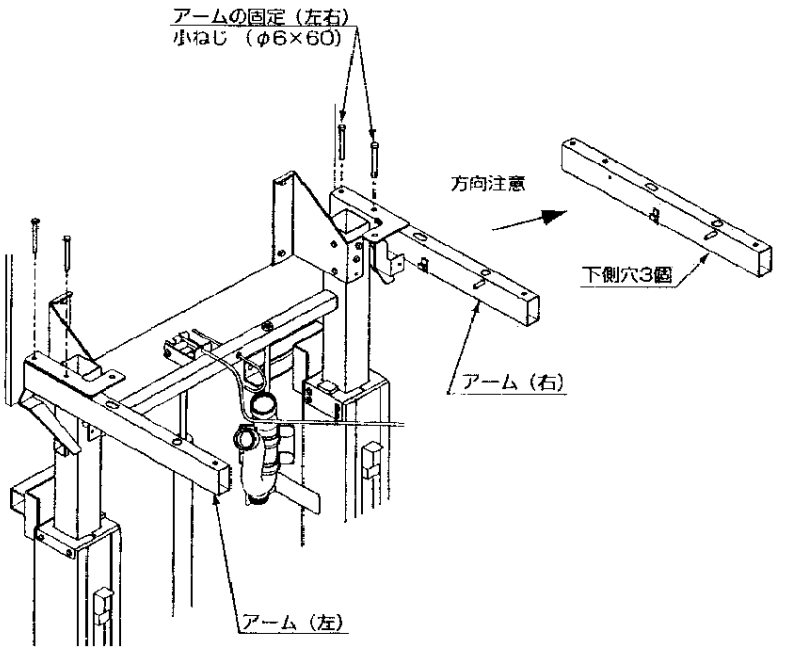
⑩ストッパーの固定（左右）



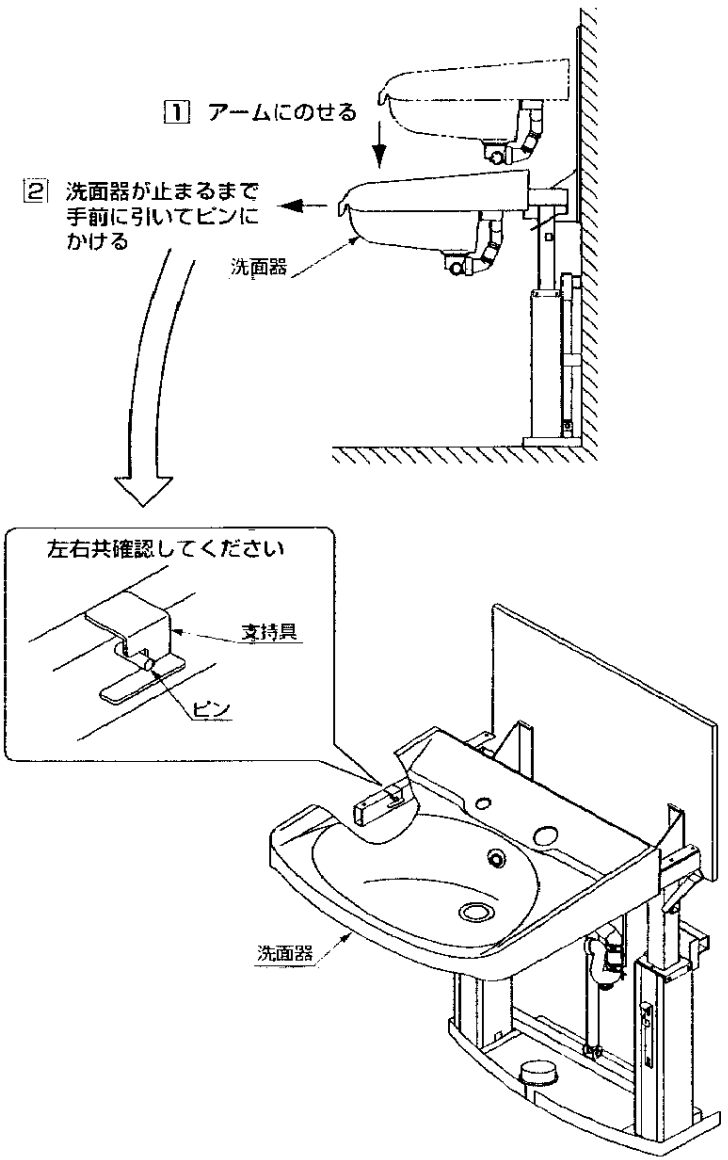
⑪水受けトレイ取付具の取付け



⑫アームの取付け



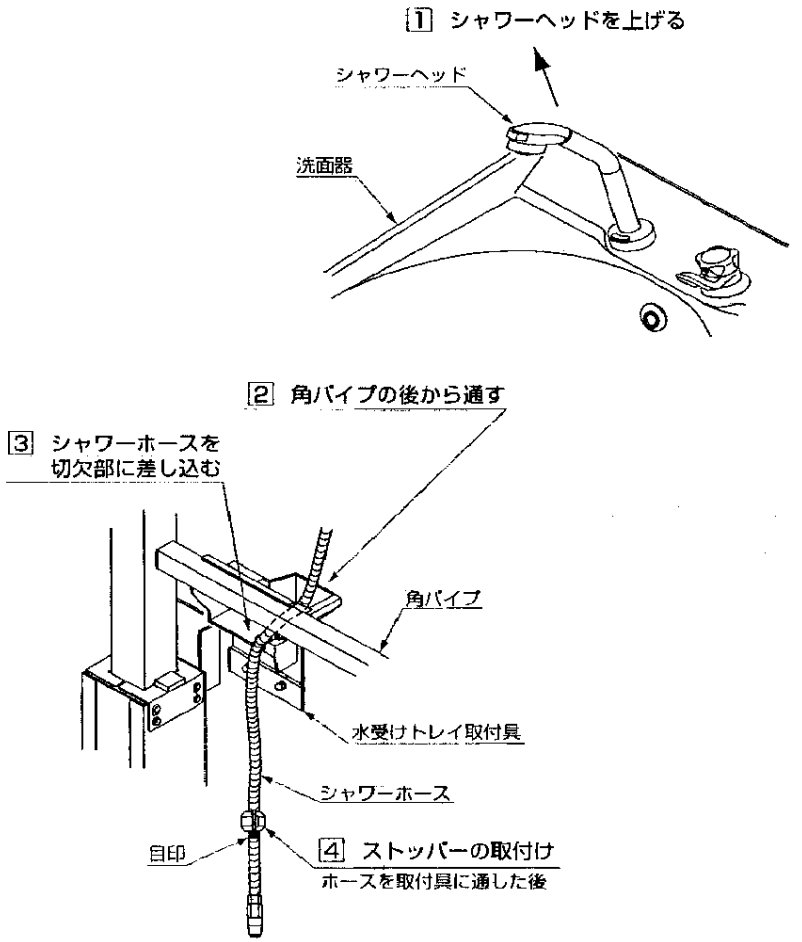
⑬洗面器の仮置き



⑭-1水栓金具の取付け

●水栓金具に同梱の施工説明書にしたがい、取付けてください。

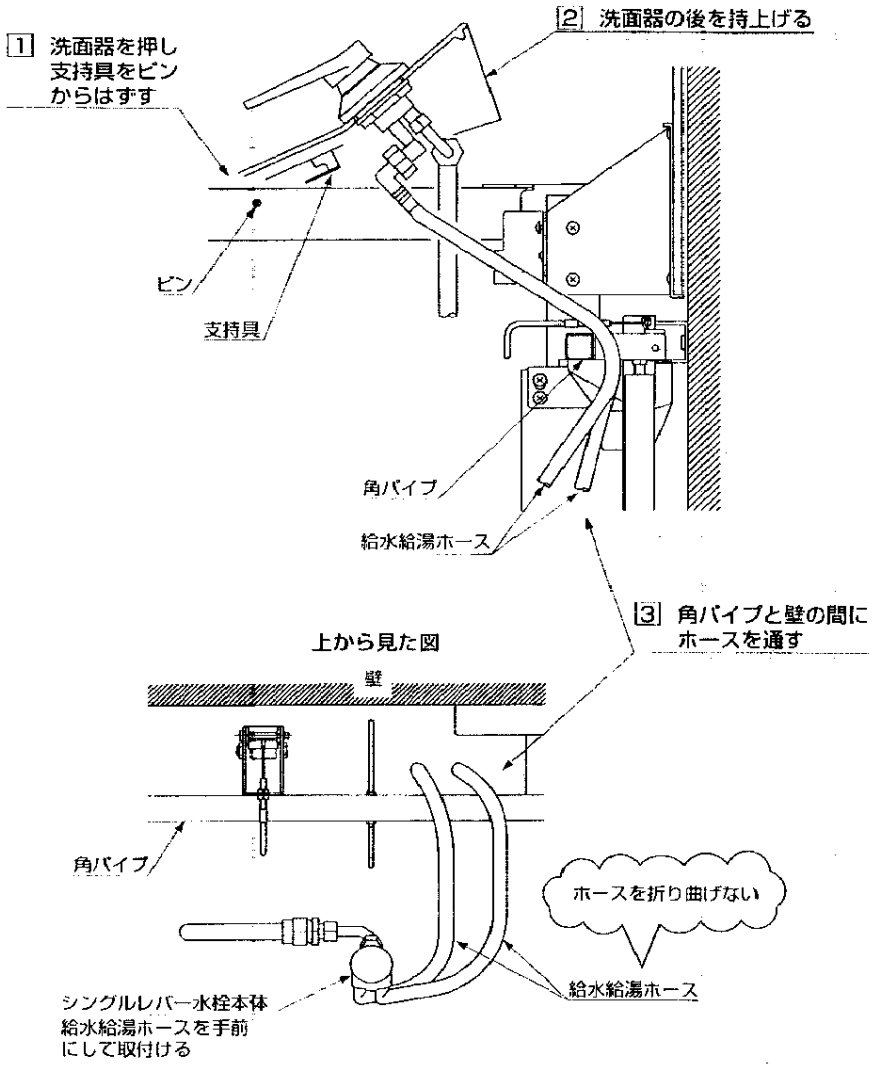
⑭-2水栓金具の取付け（ストッパーの取付け）



⑭-③水栓金具の取付け（ホースの取廻し）

●シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。
必ず、下図の位置に施工してください。

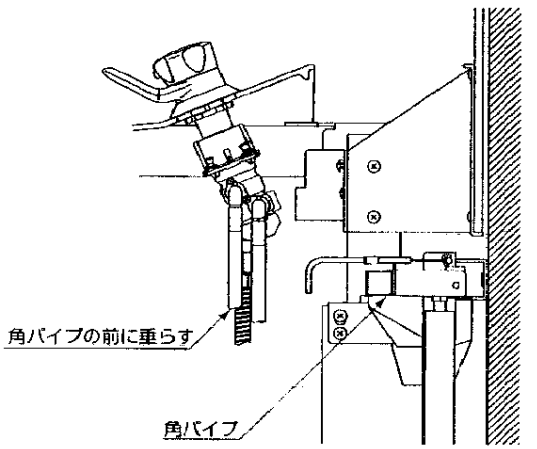
〈シングルレバー水栓の場合〉



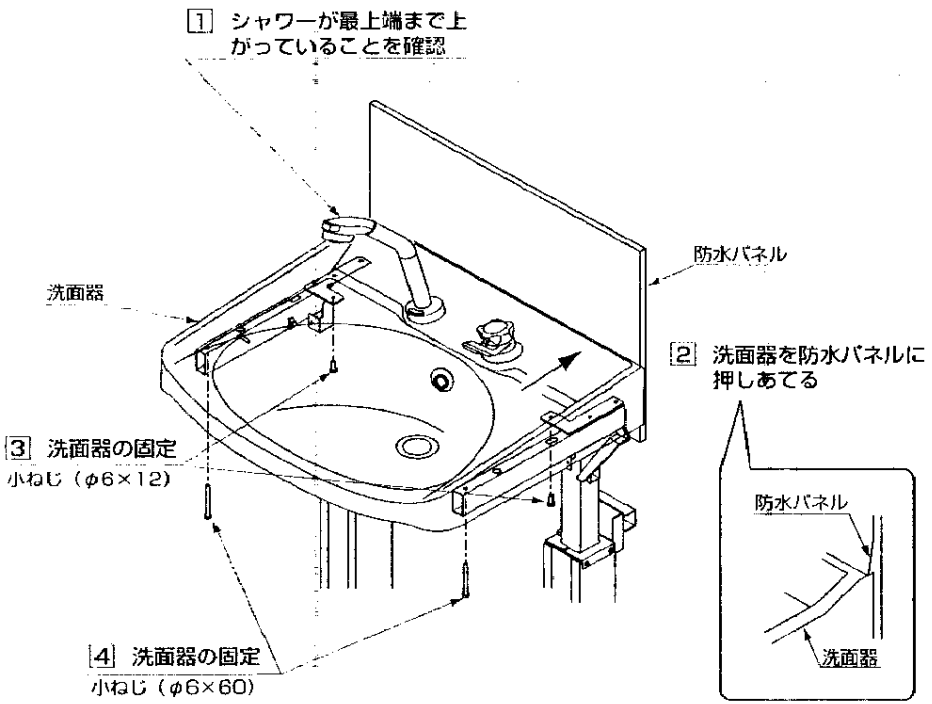
⑭-③水栓金具の取付け（ホースの取廻し）

●シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。
必ず、下図の位置に施工してください。

〈サーモ水栓の場合〉

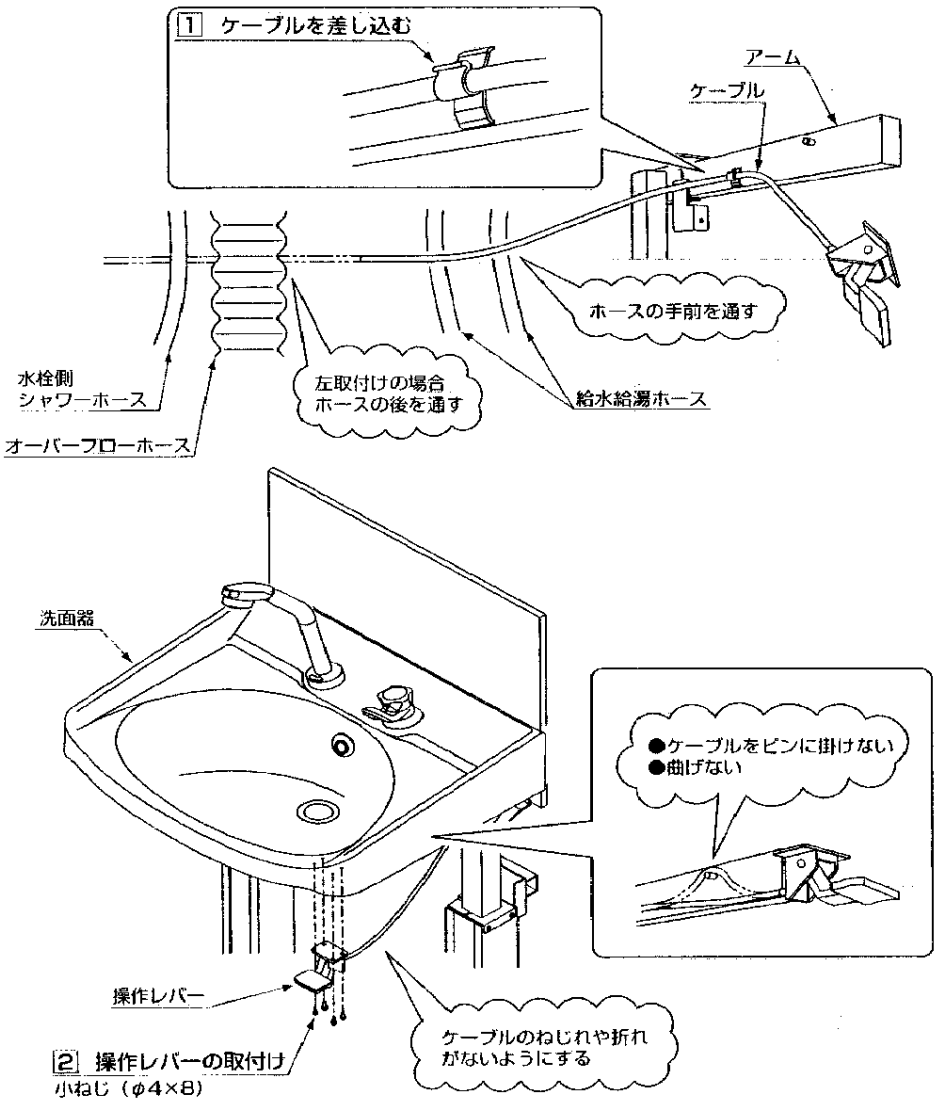


⑮洗面器の固定



⑯操作レバーの取付け

●お客様に確認した使用方向（左右）に取付けてください。
●本図は右取付けの場合を示します。



⑰操作レバーの調整

●取付完了後、レバー操作により洗面器が任意の位置で停止できることを、確認してください。
停止できない場合は、次の要領で調整を行ってください。

〔1〕洗面器が任意の位置で停止できない場合

ワイヤーが張りすぎている為、ガススプリングのロックが出来ない状態になっていますので、以下の調整を行ってください。（ワイヤーに緩みをあたえます。）

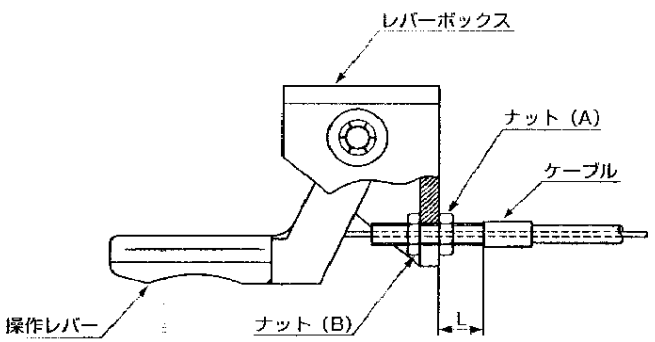
ナット（A）をゆるめ、L寸法を1～2mm 縮めナット（B）を固定してください。

〔2〕操作レバー上面が洗面器に干渉している場合

ワイヤーあそびが大きすぎる為、ガススプリングのロックが解除出来ない状態になっていますので、以下の調整を行ってください。（ワイヤーに張りをあたえます。）

ナット（B）をゆるめ、L 寸法を1～2mm 広げナット（A）を固定してください。

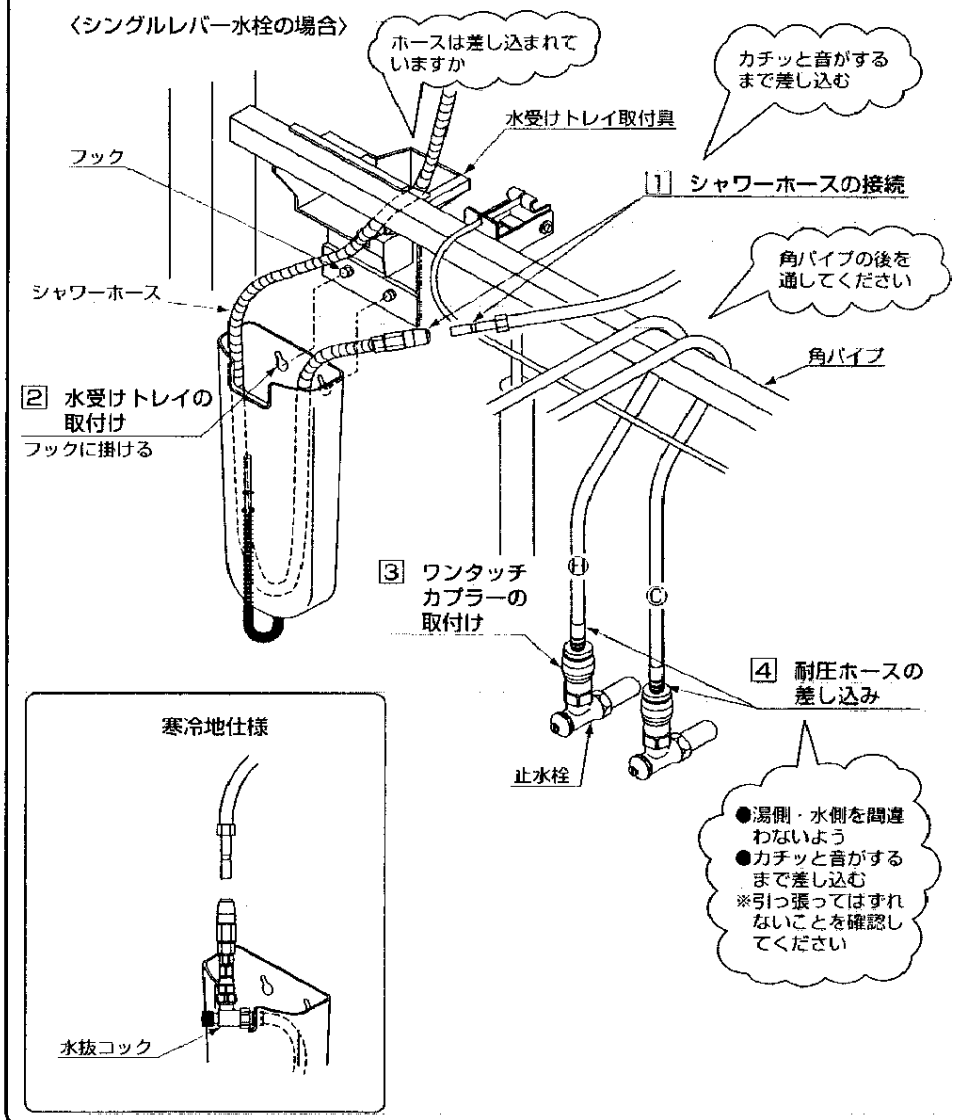
操作レバー部右側面図



⑱-1ホースの接続

●シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。
必ず、下図の位置に施工してください。

〈シングルレバー水栓の場合〉



⑱-2 ホースの接続

●シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。
必ず、下図の位置に施工してください。

〈サーモ水栓の場合〉

ホースは差し込まれていますか

カチッと音がするまで差し込む

水受けトレイ取付具

フック

1 シャワーホースの接続

角パイプの前を通してください

シャワーホース

角パイプ

2 水受けトレイの取付け
フックに掛ける

3 ホースガイドを通す

必ず通してください

ホースガイド

4 ストレーナの取付け

5 耐圧ホースの差し込み

止水栓

●湯側・水側を間違わないよう
●カチッと音がするまで差し込む
※引っ張ってはずれないことを確認してください

寒冷地仕様

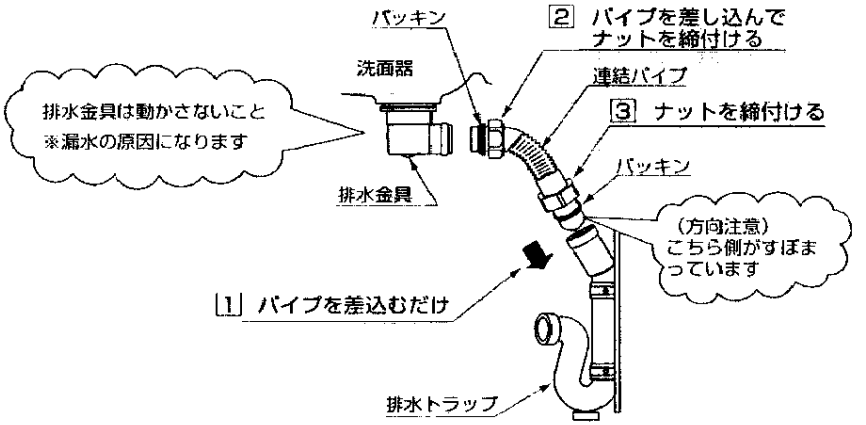
水抜コック

水栓本体の水抜ホースをトレイに入れる

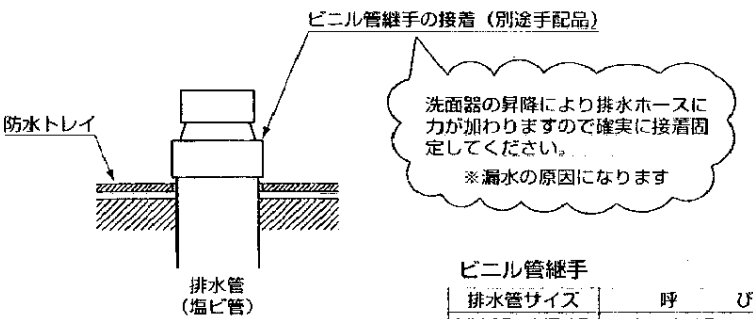
⑲連結パイプの取付け

●ナットは手で確実に締付けてください。
（工具は使用しないでください）

1 排水トラップに連結パイプを差し込んでください。（ナットは締めないでください）
2 洗面器側のナットは、必ず排水金具を手でおさえて締付けてください。
3 排水トラップ側のナットを締付けてください。



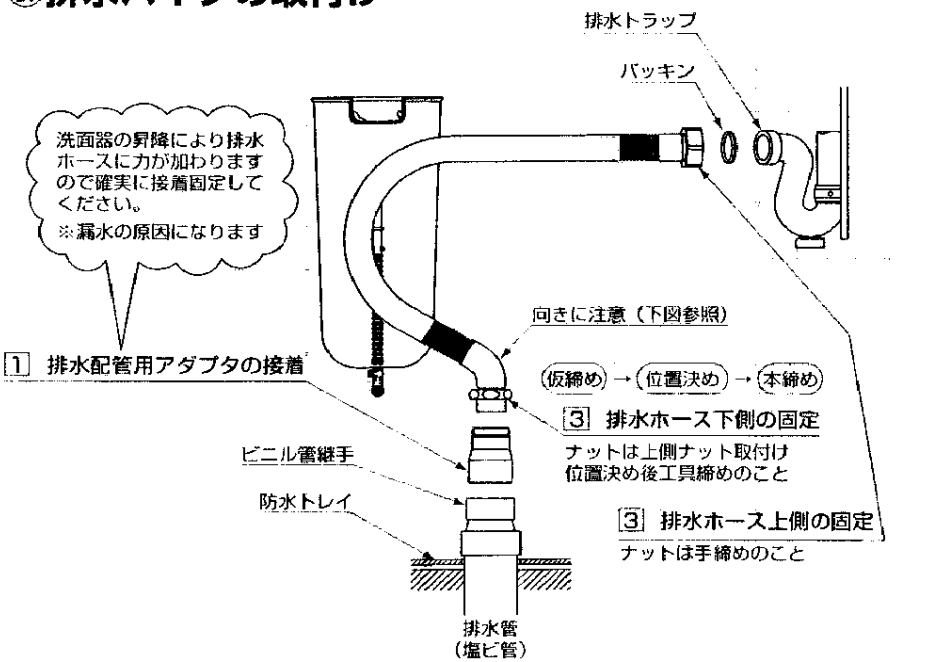
⑳ビニル管継手の取付け

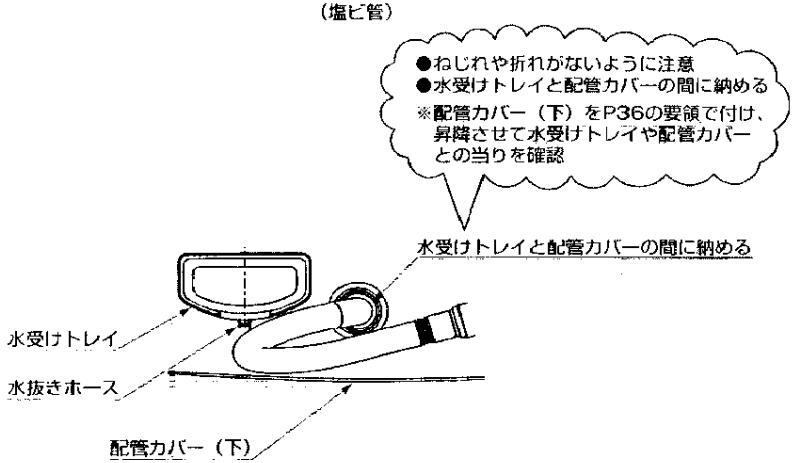


ビニル管継手

排水管サイズ	呼　び
VU40・VP40	ソケット40
VU50・VP50	インクリーザ50×40

㉑排水パイプの取付け



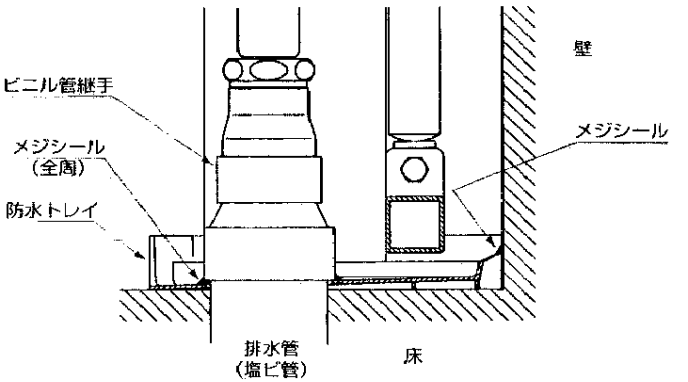


上から見た図

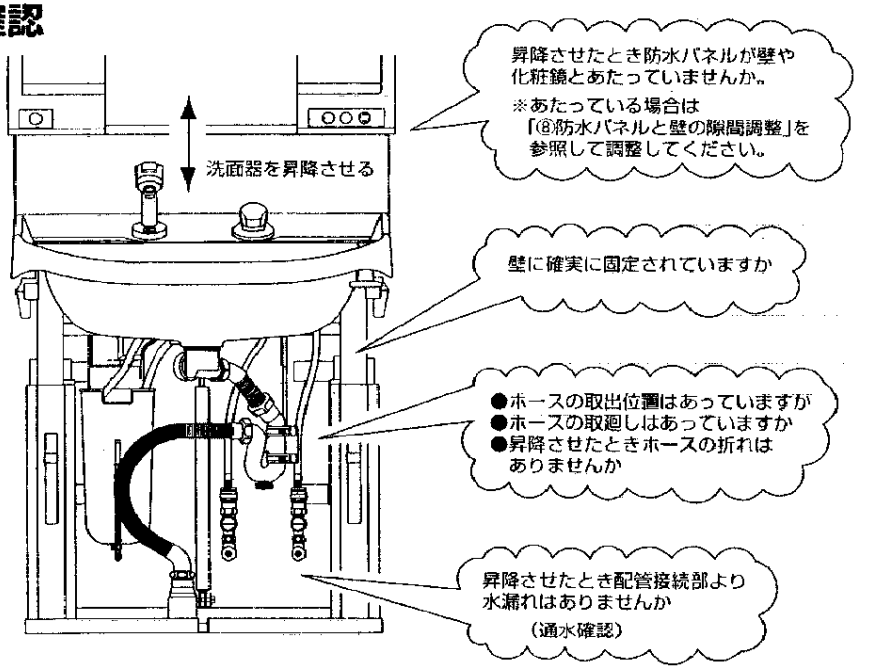
㉒防水トレイの処理

●防水トレイと壁の接触部及び配管用切欠部を、メジシール（YG902S）にてシールしてください。

排水管側面図

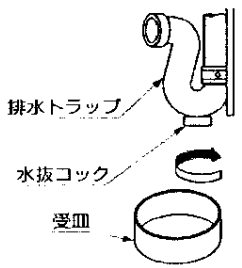


㉓確認



㉔寒冷地タイプの水抜方法

●寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。
凍結のおれそのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。
〈水抜手順〉
(1) 水栓金具の水抜方法については、水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。
(2) 排水トラップの水抜コックを開く。
※水抜き後は、必ず水抜コックを確実に締めてください。

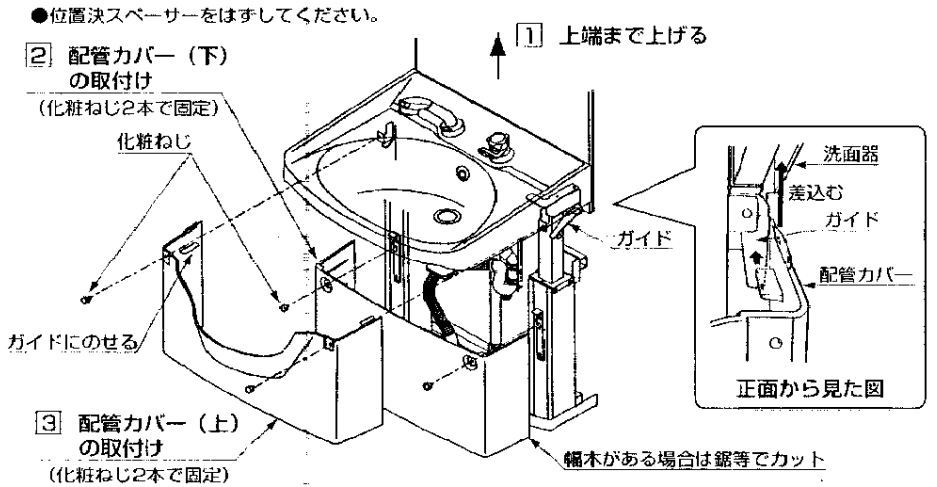


㉕周辺キャビネットの設置

●取付基準面と反対側に周辺キャビネットが設置される場合は、配管カバーを取付ける前に「③位置決スペーサーの取付け」を参照し、周辺キャビネットを先に設置してください。

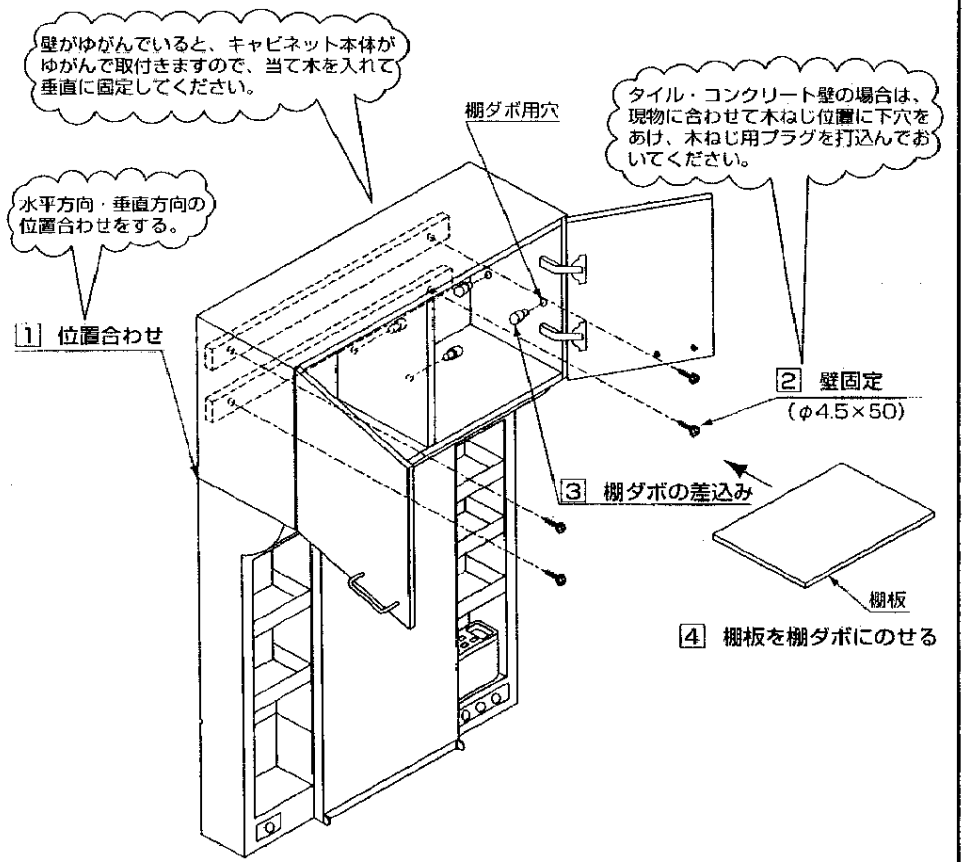
㉖配管カバーの取付け

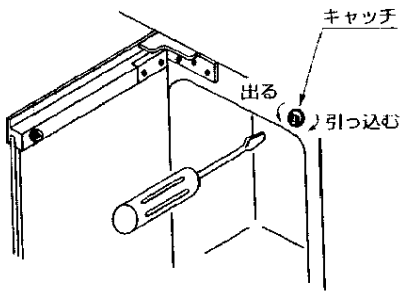
●位置決スペーサーをはずしてください。



☆ウォールキャビネットの取付け

（別売品のウォールキャビネットを取付ける場合は、この方法にしたがってください。）



取付完了後の確認と清掃

●洗面器の昇降に異常がないか確認してください。
●湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
●ウォールキャビネットが確実に固定されていることを確認してください。
●3面鏡の場合は袖鏡が確実に閉まるか確認してください。
閉まらない場合は、下図のようにキャッチの高さを調整してください。
●照明スイッチを押して蛍光灯が点灯することを確認してください。
●くもり止めヒータスイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。
●コンセントに電気カミソリなどを差し込み、通電するか確認してください。
●設置後、長期間使用されない場合は差込みプラグを抜いてください。
●製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
●ガススプリングの清掃については、付着したゴミ、ホコリを払い落とし、からぶきしてください。
ガススプリング本体とロッドにゴミ、ホコリ等が付着したまま拭きますと、ロッドに傷が付き故障の原因となりますので、十分ご注意ください。